

跡見学園女子大学  
人文学フォーラム

執筆者紹介 (五十音順・敬称略)

阿部 静子 ABE Shizuko (非常勤講師・フランス語、現代フランス文学)  
池上 貞子 IKEGAMI Sadako (教授・中国語、中国近現代文学)  
石田 信一 ISHIDA Shinichi (助教授・西洋文化史)  
伊藤 穰 ITO Jo (専任講師・情報科学)  
遠藤 潤一 ENDO Jun'ichi (教授・国語学)  
香山はるの KAYAMA Haruno (助教授・英語、英文学)  
唐沢 徹 KARASAWA Toru (教授・ドイツ語、哲学)  
神野藤昭夫 KANNOTO Akio (教授・日本文学)  
紀井利臣 KII Toshiomi (助教授・絵画技法)  
菊地 弘 KIKUCHI Hiroshi (教授・日本近代文学)  
小峰 和子 KOMINE Kazuko (非常勤講師・英語、児童文学)  
齋藤 達哉 SAITO Tatsuya (非常勤講師・国語学)  
笹本 孝 SASAMOTO Takashi (教授・フランス語、フランス文学)  
篠塚二三男 SHINOZUKA Fumio (助教授・西洋美術史)  
福原 淳 FUKUHARA Atushi (教授・音楽学)  
町田 榮 MACHIDA Sakae (教授・日本近代文学)  
横田 恭三 YOKOTA Kyozo (助教授・書道史)  
四方田犬彦 YOMOTA Inuhiko (明治学院大学教授・映画史)

座談会出席者紹介 (五十音順・敬称略)

【出席者】

川平ひとし KAWAHIRA Hitoshi (教授・和歌文学、中世文学)  
北澤 憲昭 KITAZAWA Noriaki (教授・日本近現代美術史)  
クリス・ドレイク Chris Drake (教授・英語、比較文化)  
石田 信一 ISHIDA Shinichi (助教授・西洋文化史)

【司会者】

池上 貞子 IKEGAMI Sadako (教授・中国語、中国近現代文学)

編集後記

本学では、平成十四(二〇〇二)年四月より、従来の四学科(国文、美学・美術史、英文、文化)が「人文学科」という一学科に統合され、これに伴い、これまで各学科で発行してきた学術誌についても、これらを統合する形に再編することとなりました。

そこで、新しい学術誌を構想するにあたり、編集部としましては、方針をふたつ立てました。ひとつは、従来の四学科の垣根をとり払った新学科にふさわしい学術交流の場とすること、もうひとつは、学会のみならず、広く社会へ向けて学術情報(本学の教育・研究活動の現況)を発信する、というものです。これは、本学のもうひとつの学術誌「紀要」とは異なる特色をここに打ち出そうという試みでもあります。

つぎに、その具体的な掲載内容についてですが、学術誌という性格上、学術的な論文を基幹とすべきことは言うまでもありませんが、これを広く社会に向けて発信するという、もうひとつの方針にも立って、翻訳、座談会、退職者の寄稿文や人文学科主催の講演記録なども盛り込むことといたしました。

しかし、なにもぶんに、本誌はゼロから立ち上げねばならず、誌面のデザインや寄贈先の選定にいたるまで、発刊までの厳しい時間的スケジュールをこなしていくかねばなりません。私どもも着任以来、鋭意準備をすすめてまいりましたが、本誌の姿が理想的か否かについては、様々なご感想があらうかと思えます。どうぞ、忌憚のないご意見やご提案をお寄せください。本誌が、次号以降、さらなる模索を重ねていく上での端緒となれば幸いです。

最後になりましたが、お忙しいスケジュールをやりくりして、ご執筆くださった方々、また、座談会にご出席くださった方々に、編集者一同、心よりお礼申し上げます。  
(村松加代子)